

令和5年度 第2回 ネイパル深川施設運営委員会

【開催日時】 令和6年2月19日（木）13時00分～14時10分

【開催場所】 ネイパル深川 大研修室

【出席者】

運営委員会4名、オブザーバー1名（ネイパル深川駐在 社会教育主幹）、指定管理者5名

1. 挨拶 指定管理 株式会社スポーツピア代表取締役兼ネイパル深川所長 安田 光則

2. 協議内容

（1）令和5年度事業報告について

① 利用状況

- ・コロナ明け利用人数が伸びているが、コロナ前には届いていない。
- ・5月の緩和明けからバレーの合宿や一般団体が復活、6月はテニスの利用で日帰り人数が伸びた。
- ・8月道外からの合宿や新規の獲得。7・8月が猛暑だったため9・10月へ宿泊学習の移動があった。
- ・キャンセルがなければ令和元年と同じぐらいの宿泊人数だった。

② 主催事業について

※配布資料を用いて説明。達成率103.0%

③ マップの進捗状況

※配布資料を用いて説明

- ・新規モデルコース作成中。
- ・マップは資料に二次元コードを添付、読み込んでもらうとマップに飛べるようにする。

④ 防災APについて

※配布資料を用いて説明。

⑤ 新規プログラムについて

- ・冬のプログラムを歩くスキー、スノーシューを検討中。
 - ・スノーシューについては主催事業「冒険キャンプ・冬」で実施をした。
 - ・3コースを整備し、来冬の提供を目指す。
- ※総合体育館でも歩くスキー、スノーシューを持っている。貸出可能。

（2）令和6年度運営

① 利用人数目標 ※配布資料を用いて説明

- ・4月宿泊は現時点で150%が見込まれているが高校の人数が減ってきているので数値が下回ると思われる。
- ・閑散期については冬の宿泊研修の提案などを進めていく。

3. 質疑・情報交流

音江小学校 中嶋校長

- ・今年度も例年通り通学合宿を行っていく。
児童の中でもらい湯が楽しかったとの声が多かった。
- ・モデルコースについてはホームページからダウンロードできるようにしたらどうか。
- ・音江小学校でも防災 AP の検討をしていく。

アグリ工房まあぶ 秋沢 様

- ・コロナが明け利用者数、体験数ともに戻ってきている。(入館数については9割ほど)
- ・来年度新規の取り組みは未定だが、人手が足りなく、雨の対応ができないため野外炊飯を廃止する。
- ・加工体験についても継続して行っていく。
- ・薪割体験など今後行っていきたい。

深川市スポーツ協会 田原 様

- ・施設利用や大会利用がコロナ前に戻るが、個人利用が減っている。
習慣が切れ、なかなか戻っていない。(特に高齢者)
- ・学校開放の団体が減っている、活動自体が休止している団体もある。
- ・スポーツを取り巻く環境が選手・指導者ともに高齢化していて、
新しい企画を打ち出すのも難しい。

温水プール「ア・エール」 伊藤 様

- ・コロナ明け人数は戻ってきているが、教室の会員が減少している。
コロナ前続けていた人が戻ってきていない。
- ・主催事業の宣伝などでア・エールを活用してもらいたい。(旭川からも利用者が来ている)
- ・3か月に一度、着衣泳を行っている。ネイパルでの防災 AP に協力ができる。
- ・夏にはキャンプ・秋にはバスツアーなどを行っている。
春の登山はネイパルに協力してもらいたい。
- ・ア・エール内で体験活動を行いたいが、今いる職員では難しい。

安田社長

- ・施設間での連携をしていきたい。
出前授業の実施など、相互でプラスになればいい。
- ・マップについて、掲載するだけでなくネイパルのセールスツールになるようにしていきたい。

4. 閉会の挨拶 北海道教育生涯学習推進局社会教育課 ネイパル深川社会教育主幹 久末 考勇

